

第9 民間社会福祉活動

1 概 説

社会経済の変動は、福祉に対する意識を変えるとともに福祉のニーズもますます複雑多様化し、質・量ともに変化し、増大してきている。このような中で人間性豊かな潤いのある福祉社会を実現していくためには、それぞれの地域において住民一人ひとりが連帯と、思いやりの精神を基調として活力ある民間社会福祉活動の幅広い展開が不可欠なこととなっている。

そのために、地域福祉活動を組織的に推進する社会福祉協議会、民生委員児童委員その他の福祉関係団体が、緊密な連携のもとにそれぞれの機能を強化し、民間福祉活動を推進する必要がある。また、地域住民の自主的な活動を効果的に進めるボランティア活動の分野が活発化していくため、市においても積極的な援助や助成を行っていく。

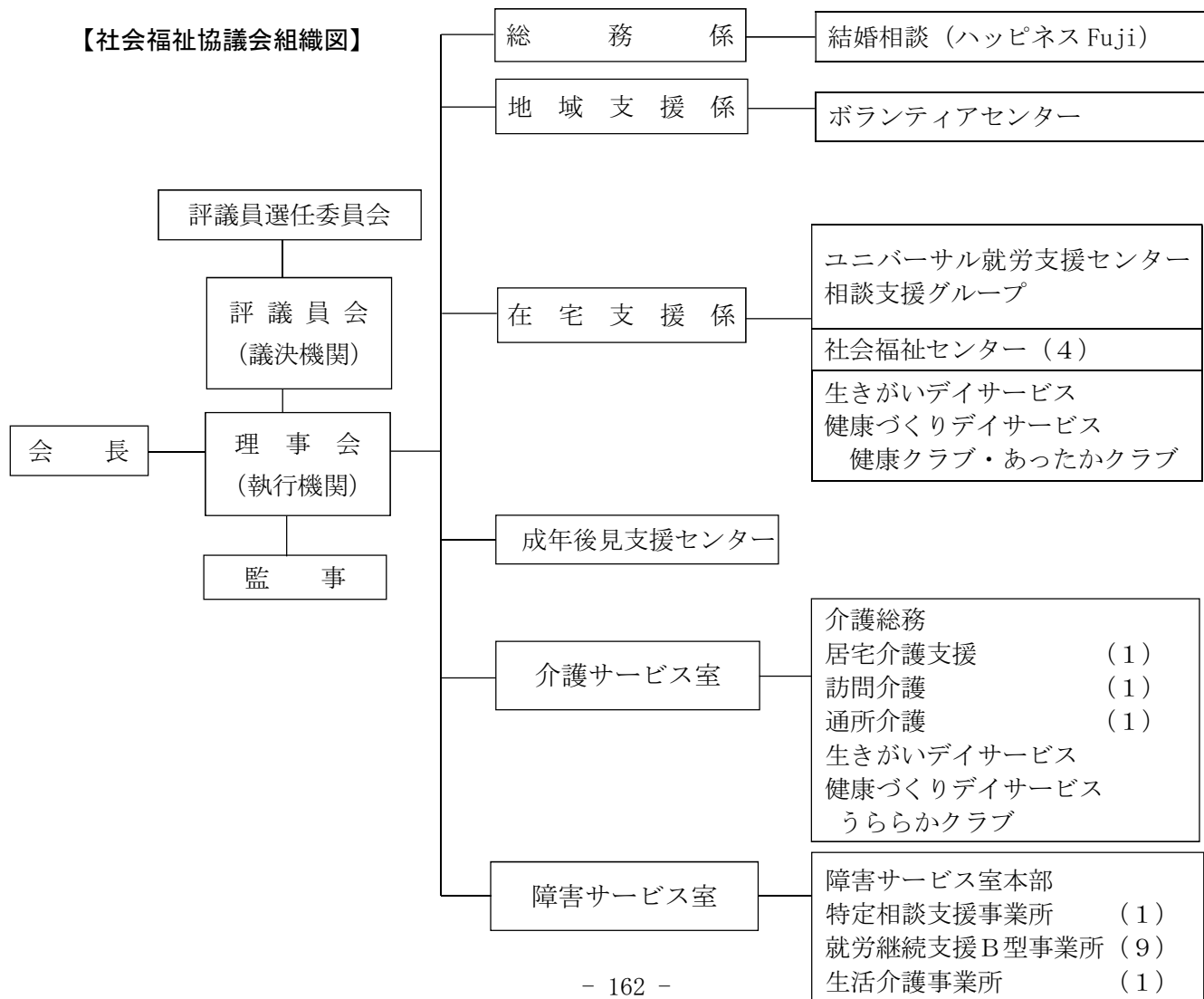
2 社会福祉協議会

創 立 年 月 日 昭和41年11月1日

法 人 設 立 年 月 日 昭和45年4月24日

社会福祉法人富士市社会福祉協議会は、「だれもが住みなれた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を推進することを基本理念に、地区福祉推進会をはじめとした地域の皆様と共に考え、話し合い、協働して、地域福祉や在宅福祉事業を展開していく、社会福祉法人格をもった民間の福祉団体であり、全国的に組織されています。

【社会福祉協議会組織図】



【財 源】

各種の福祉事業を進めるために必要な財源は、会員（全世帯）の皆様からの会費、共同募金の配分金、寄附金並びに県・市からの補助金等によって賄われます。

年間会費

- (1) 普通会員 年額 300円
- (2) 特別会員 " 1,000円以上
- (3) 団体施設会員 " 1,000円以上

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
普通会員	23,415,700	23,589,350	23,739,600	23,760,800
特別会員	6,572,250	6,521,000	6,358,000	6,123,000
団体・施設会員	357,000	368,000	355,000	340,000
合 計	30,344,950	30,478,350	30,452,600	30,223,800

【予 算】

(単位：円)

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較
社会福祉事業	地域福祉事業拠点	322,169,000	310,504,000	11,665,000
	介護保険事業拠点	288,422,000	265,835,000	22,587,000
	障害者就労支援事業拠点	423,702,000	523,335,000	△99,633,000
	社会福祉センター拠点	127,173,000	132,246,000	△5,073,000
	拠 点 計	1,161,466,000	1,231,920,000	△70,454,000
	拠点区分間内部取引消去	△15,029,000	△15,896,000	867,000
法 人 全 体		1,146,437,000	1,216,024,000	△69,587,000

【事業の概要】

1 啓発活動

(1) 広報紙「お元気ですか」の発行

社会福祉協議会の行っている事業をお知らせするとともに、市民の声などもとりあげ、福祉をより身近に感じていただこうと年4回発行しています。

(2) コミュニティFM「Radio-f」との連携

Radio-fでの福祉番組を通じて、社協職員、地区福祉推進会、ボランティアが生出演して、市民に福祉の情報を提供しています。

番組名 富士市社会福祉協議会「はあとふるトーク」

オンエアー 毎月最終水曜日 15:10～

(3) その他の広報活動

各種事業のパンフレットを作成するほか、社協独自のウェブサイトの開設、福祉図書等の貸出、市広報紙「広報ふじ」を通じて社会福祉の啓発に努めています。

2 児童福祉対策事業

(1) 小中学校入学支度費の支給

低所得世帯の児童に対し、入学時に必要な支度費を支給する事業で、小学校入学時8,000円、中学校入学時15,000円を支給しています。

＜令和元年度＞	小学校	70名	560,000円	
	中学校	74名	1,110,000円	計1,670,000円

(2) 小中学校修学旅行支度費の支給

低所得世帯の児童に対し、小中学校長の申請により支度金を支給する事業で、小学生8,000円、中学生10,000円を支給しています。

＜令和元年度＞	小学校	156名	1,560,000円	
	中学校	131名	1,048,000円	計2,608,000円

(3) 児童遊び場設置費補助

児童遊び場の設置に対する補助をしています。

＜令和元年度＞ 2か所 150,000円

(4) 交通遺児入学祝金支給事業

交通遺児に対し、入学時において小学校10,000円、中学校20,000円、高校50,000円を支給しています。

＜令和元年度＞ 該当0名 0円

(5) 交通遺児見舞金支給

交通事故により両親又はいずれかを亡くした児童のいる世帯に対し20,000円の見舞金を支給しています。

＜令和元年度＞ 該当0世帯 0円

【第9 民間社会福祉活動】

(6) 交通遺児等育英奨学生

<令和元年度> 対象者 5名 780,000円

(7) こども食堂への補助

<令和元年度> 2団体 120,000円

3 高齢者福祉対策事業

(1) 敬老会補助

敬老会事業に対する補助をしています。

<令和元年度> 対象者 30,904名 5,562,720円

(2) さわやかコール事業

おおむね65歳以上で、見守りを必要とするひとり暮らしの高齢者に、乳酸菌飲料を週3本定期的に宅配し、孤独感を和らげると共に安否確認をしています。

<令和元年度> 月平均利用者数 464名

(3) ふれあい・いきいきサロンへの補助

〔目的〕だれもが住み慣れた地域で、いつまでも健康でいきいきとすごせること、高齢者や障害者等が、地域の中で孤独にならないことを目的に、地域住民が自主的・自発的に活動するサロンへの補助をしています。

〔対象〕地域に居住する高齢者・障害者等

〔利用料〕無料

〔開設数〕164か所（令和元年度末）

4 援護対策事業

(1) 緊急一時援護事業

低所得世帯などで、緊急に生活費・医療費等の援護を要する世帯に対し50,000円を限度に援護しています。

<令和元年度> 4件 105,000円

(2) 罹災世帯援護事業

火災により罹災した世帯に対し見舞金を支給する事業で、全焼30,000円、半焼20,000円を援護しています。

<令和元年度> 全焼 6世帯 180,000円 / 半焼 1世帯 20,000円

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯であって、緊急かつ一時的に必要な生活資金を貸し付け、世帯の更生を図るもので、50,000円を限度に無利子で貸し付けしています。

<令和元年度> 12件 340,000円

また、行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行っています。

<令和元年度> 82件 2,922,718円

(4) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行っています。

＜令和元年度＞	貸付	182件	13,737,915円
(内訳)	高額療養	124件	12,643,483円
	重度医療	47件	611,300円
	精神医療	0件	0円
	母子医療	11件	483,132円
	出産一時金	0件	0円

(5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金を貸し付けしています。

＜令和元年度＞	貸付	8件	2,163,000円
	・緊急小口資金特例貸付事業		
	※新型コロナウイルス感染症に伴う減収世帯対象		
	貸付	21件	3,400,000円

5 助成事業

民間福祉団体運営費助成

民間の各種福祉団体の運営に対して援助しています。

＜令和元年度＞	14団体	1,780,000円
---------	------	------------

6 相談事業

(1) 福祉総合相談（令和元年度終了事業）

富士市就労総合支援センターの設置に伴い、市民の皆様の身近な相談窓口として福祉総合相談を行いました。

- ・ 相談日時 月曜日～金曜日 8:30～17:15
(休日) 土・日曜日、祝祭日及び年末年始
- ・ 場 所 富士市フィランセ東館1階
- ・ 電話相談 64-3294

＜令和元年度＞	相談件数	712件
(内訳)	来所相談	116件
	電話相談	595件
	その他	1件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	75	61	59	70	53	50	61	57	50	60	52	64	712

【第9 民間社会福祉活動】

(2) 心配ごと相談（令和2年度新規事業）

相談員を1名配置し、福祉・生活に関わる心配ごと相談を受け、適切な援助を行います。

- ・ 相談日時 月曜日～金曜日 8:30～17:15
(休日) 土・日曜日、祝祭日及び年末年始
- ・ 場 所 富士市フィランセ東館1階
- ・ 電話相談 64-4649

(3) 結婚相談（ハピネスfuji）

結婚を望む男女の出会いを提供するため、結婚相談・縁結び支援を行っています。

- ・ 相談日時 毎週水曜日、第1・第3土曜日及び第2・第4日曜日
10:00～12:00、13:00～15:30
※祝祭日及び年末年始を除く
 - ・ 場 所 富士市フィランセ東館4階 育児研修室
 - ・ 電話相談 64-6604
- <令和元年度> 相談件数 4,505件
新規登録者数 159名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催日数	8	7	8	9	6	8	9	9	8	7	5	8	92
相談件数	440	409	330	522	346	439	430	354	316	278	319	322	4,505

(4) 生活困窮者自立相談支援事業の実施（令和元年度終了事業）

フィランセ東館1階に様々な生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるくらし・しごと相談窓口を開設し、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行いました。

- ・ 相談日時 月曜日～金曜日 8:30～17:15
(休日) 土・日曜日、祝祭日及び年末年始
 - ・ 場 所 富士市フィランセ東館1階
 - ・ 電話相談 64-6969
- <令和元年度> 相談件数 1,890件

(内訳)	男性	1,261件	来所	937件
	女性	629件	電話	733件
			メール	19件
			訪問	171件
			同行	30件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談者数 (新規)	30	43	52	58	44	39	33	36	31	45	26	51	488

(5) ユニバーサル就労支援センターによる相談支援（令和2年度新規事業）

フィランセ東館1階において、様々な生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるユニバーサル就労支援センターの相談支援グループを株式会社東海道シグマと共同事業体として運営し、生活のことや仕事のことなどの相談を受け、立て直しに向けた支援を行っています。

- ・ 相談日時 月曜日～金曜日 8:30～17:15
(休日)土・日曜日、祝祭日及び年末年始
- ・ 場 所 富士市フィランセ東館1階
- ・ 電話相談 64-6969

7 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で、自身の判断能力に不安のある方を対象に、住みなれた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援します。

区 分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
初回相談件数	26	15	6	8	55
契約件数	13	29	15	10	67
相談援助件数	1,462	2,154	1,509	703	5,828

8 成年後見支援センター

認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人が成年後見制度の利用につながるよう支援や広報活動を行い、権利擁護を推進することでより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ります。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規相談件数	5	14	21	18	26	13	21	12	14	24	9	20	197

9 法人後見事業

市民後見人への引継ぎを想定した法人後見受任を行っています。昨年は新たに4件を加え、合計7件（累計13件）を受任しています。

10 市民後見人監督

家庭裁判所より市民後見人2名が新たに選任され、合計4名の後見等監督人を社協が担っています。

11 共同募金運動

共同募金運動は、「赤い羽根募金」と「歳末たすけあい募金」の総称です。私たち一人ひとりが持っている「たすけあい」の精神に基づき、毎年10月1日から12月31日まで全国一斉に実施されます。寄せられた募金は、民間社会福祉事業の充実や、誰もが安心してともに暮らせるまちづくりのために役立てられています。

共同募金運動の実績

(単位：円)

年 度	赤 い 羽 根 募 金			歳末たすけあい募金
	戸 別	篤志・法人	街 頭	
平成27年度	14,662,556	6,675,780	1,602,038	9,984,454
平成28年度	14,547,436	6,522,348	1,415,516	9,699,931
平成29年度	14,683,910	6,283,000	1,513,192	9,554,149
平成30年度	14,561,360	6,035,700	1,790,631	9,352,017
令和元年度	14,713,100	5,931,000	1,795,172	9,504,765

12 ボランティアセンター

だれもが気軽に参加できるボランティア活動の拠点として、「ボランティアセンター」が富士市フイランセ東館3階にあります。

ボランティアセンターでは、「ボランティアをしたい」「ボランティアをしてほしい」「ボランティアについて知りたい」という人たちのいろいろな相談に応じています。

現在、学生から高齢者まで約3,380名、267団体で、手話・点字・音訳・要約筆記・福祉施設・託児・移送や専門知識を活かしたボランティアなど、「自分にできる」「自分にあった」ボランティア活動を展開しています。

また、学校における福祉教育では、「総合的学習」もふまえ、福祉体験や福祉教育プログラムを提供しています。

<令和元年度ボランティアセンター利用者数>

開館日	329日
利用者数	5,558人
ボランティア相談・活動希望	314件 (活動希望45件、依頼269件)
ボランティア対応	194件 (延べ551人)

ボランティア講座の開催

種 別	内 容
託児ボランティア養成講座	母親教室等に参加するときに、お子さんをお預かりしお世話するボランティアの養成を目的に開催 (全2回、15名参加)
初級ボランティア講座	ボランティア活動を始めるきっかけづくりや、更なる活動の輪を拡げることなどを目的に開催 (全1回、33名参加)
第14回災害ボランティア講習会	地震や豪雨などの災害に備え、自分の身を守るための情報や訓練のあり方、さらには災害ボランティア活動や災害ボランティア支援本部の役割等を講義と演習及び訓練をとおして学ぶことを目的に開催。 (全4回、40名参加)
運転ボランティア研修会	車いす利用者を対象に、リフト付車両で病院や公共機関等へ送迎をするボランティア養成を目的に開催 (全2回、23名参加)
音訳ボランティア養成講座	視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアのスキルアップを図るための講座を開催した。 (全5回、29名参加)

ボランティア団体への支援

富士市ボランティア連絡会	・ボランティア同士の情報交換・研究を目的に、毎月第1金曜日に定例会を開催 ・会員同士のふれあいを図る事業や研修等を開催
富士市災害ボランティア連絡会	災害時におけるボランティア活動が、効率的且つ迅速に行えるよう、情報交換や意見交換、訓練等を行う (加入団体12団体)

ボランティア活動保険

ボランティア活動保険	活動中の事故に備えるための保険 令和元年度年額 Aプラン 350円・Bプラン 510円 天災Aタイプ 500円・天災Bタイプ 710円 令和元年度加入者数 3,386名
------------	---

福祉教育活動

富士市福祉教育担当者連絡会	富士市内の小・中学校の福祉教育に関する取り組みについて情報交換を行い、それぞれの活動の充実を図ることを目的に連絡会を開催。
夏休み福祉なんでも学習	福祉情報の提供や夏休みの自由研究の課題、疑似体験のコーナー、福祉全般についての相談やボランティア活動についての相談も受付ける R1 (1日195名参加)
福祉講話・体験学習	福祉に関心がある小・中学校等からの要請により、講師の派遣を行い福祉講話や体験学習をとおして福祉啓発活動を行う R1 (講話及び体験指導等 計9回)
疑似体験用具の貸出	高齢者・右マヒ・車いす・アイマスク等の疑似体験用具や点字体験用の点字盤の貸出 (貸出回数20回)

福祉人材育成事業

福祉人材育成事業	将来の福祉事業に携わる人材を長期的な視点で育成し確保することを目指し、広く福祉に関する啓発事業を行う
----------	--

おもちゃ図書館の運営

ふじおもちゃ図書館	おもちゃを通じて障害児と健常児との交流の場として開設 (年間4,035人利用)
-----------	--

13 地区福祉推進会への支援

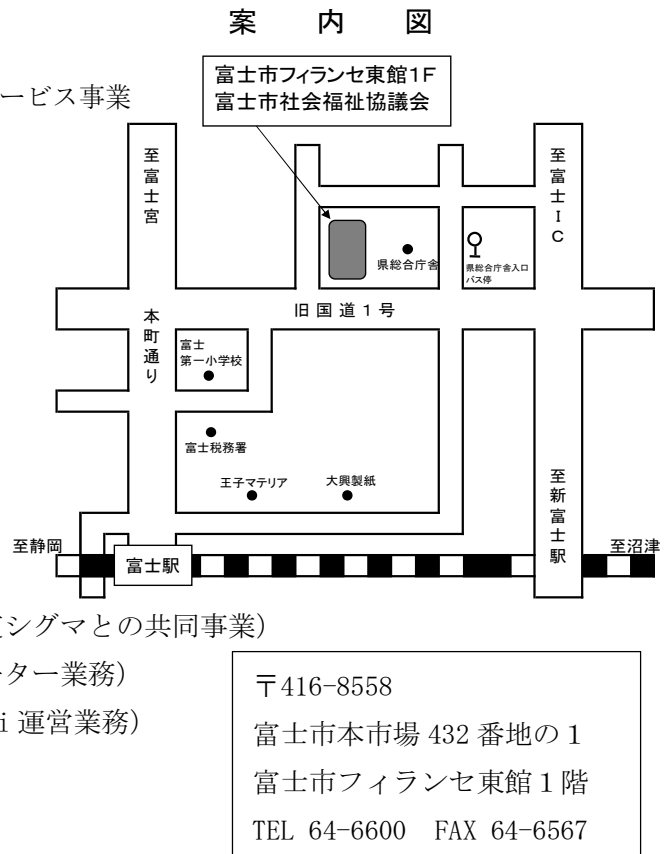
市内 26 地区（まちづくりセンター単位）を基本に住民福祉活動の推進母体として「地区福祉推進会」を組織化し、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めています。

各地区福祉推進会の主な活動

地区名	発足年度	主 な 活 動		
富士南	昭和63年	地域見守り活動	学校行事への協力	高齢者お楽しみ会
富士見台	平成元年	ぼらんていあスクール	ふれあい交流会	ふるさと伝承
今泉	〃	高齢者見守り活動	中学生福祉体験	顔の見える関係づくり
吉永	〃	ひとこえ会	愛の家庭訪問	ふれあい歌声喫茶
天間	平成2年	ふれあい昼食会	住民福祉講座	七五三奉納相撲大会
須津	平成3年	ホットひといき広場	シルバーウークふれあい訪問	ふれあい昼食会
岩松	平成4年	高齢者支援事業	かりがねまつり	サロンへの支援
富士駅南	平成6年	福祉フェスティバル	住民福祉ネットワーク	ボランティアサポート
丘	平成7年	三世代交流七夕まつり	高齢者おせち配食	福祉講座
浮島	平成8年	ふれあい交流会	ふれあい昼食会	愛の声かけ訪問
原田	〃	要支援者見守り	サロン交流会	バンク仕事体験
元吉原	平成9年	ふれあい配食	親子ふれあい交流事業	ふれあい昼食会
鷹岡	平成10年	三世代交流	ふれあい昼食会	福祉講演会
伝法	〃	中学生福祉体験	ふれあい交流会	ふれあい配食
富士駅北	〃	ふれあいの集い	障がい者との交流事業	福祉講演会
吉原	平成12年	ふれあい昼食会	ふれあい交流会	紙手紙慰問
田子浦	〃	ふれあい配食	住民福祉講座	ふれあい昼食会
岩松北	平成13年	梅まつり福祉バス運行	ふれあい昼食会	放課後子ども教室
青葉台	〃	防災グッズ配布	うたごえサロンつぼみ	クリーン&ウォッチャー
神戸	〃	ふれあい交流会	ホッともっと広場	神戸福祉寄席
広見	平成14年	福祉フェスティバル	サロン交流会	ふれあい昼食会
吉永北	平成15年	ふれあい配食	ふれあい訪問	昔あそび体験
富士北	平成16年	声かけネット	ふれあい配食会	福祉講演会
大淵	〃	こえかけ運動	あいさつ運動	ふれあい配食
富士川	平成21年	富士川一中地域交流体験	サロンへの支援	セキュリティシステム
松野	〃	福祉委員研修会	男の料理教室	健康運動推進講座

14 受託事業

- ① 福祉機器リサイクル事業
- ② 生きがいデイサービス事業・健康づくりデイサービス事業
(健康クラブ・あったかクラブ・うららかクラブ)
- ③ 車いす移送車運行事業
- ④ 家族介護者交流事業
- ⑤ 成年後見支援センター運営事業
- ⑥ 成年後見推進事業
- ⑦ 高額療養費等資金貸付事業
- ⑧ 重度医療費等つなぎ資金貸付事業
- ⑨ 音訳ボランティア養成事業
- ⑩ 音声行政情報提供事業
- ⑪ ユニバーサル就労支援センター
相談支援グループ運営事業 (株式会社東海道シグマとの共同事業)
- ⑫ 生活支援体制整備事業 (第1層コーディネーター業務)
- ⑬ 結婚相談・縁結び支援事業 (ハッピーネスFuji 運営業務)
- ⑭ 要介護認定訪問調査委託事業
- ⑮ 生活福祉資金貸付事業
- ⑯ 日常生活自立支援事業



15 指定管理事業

社会福祉センター (広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ) の運営管理

16 障害福祉サービス事業

特定相談支援事業

指定就労継続支援 (B型) 事業

吉原つくし、竹の子、ひめな、ふれあいショップあゆみ、ふじひろみ、市民ふれあいバンク
鷹身工芸社、ふじばら作業所、まつぼっくり

指定生活介護事業

オリーブの丘

居宅介護、同行援護、移動支援事業

17 介護保険事業

居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業 (富士川デイサービスセンター)

3 民生委員・児童委員

民生委員児童委員は、地域住民の福祉向上を図るため、相談、指導、調査をはじめとする自主的な活動のほか、福祉事務所等関係行政機関への協力を行う民間奉仕者で、社会福祉に対する熱意と豊かな経験を持った人の中から、3年の任期で厚生労働大臣が委嘱することになっている。

民生委員児童委員はそれぞれ区域を分担しており、児童問題を専門に担当する主任児童委員を合わせると、現在の民生委員児童委員の定数は、434人となっている。

民生委員児童委員の地区別定数<民生委員法、児童福祉法> (単位:人)

地区 区分	富 士 駅 北	富 士 北	富 士 駅 南	富 士 南	田子浦	岩 松	岩松北	鷹 岡	天 間	須 津 浮 島	吉 永
地区担当 民生委員	22	11	17	20	20	15	15	19	12	20	11
主任児童委員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	24	13	19	22	22	17	17	21	14	22	13

地区 区分	原 田	今 泉	富士見台 吉永北	神 戸 青葉台	広 見	丘	吉 原	伝 法	大 淵	元吉原	富士川 松 野	合 計
地区担当 民生委員	12	21	18	15	22	15	20	16	17	16	36	390
主任児童委員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	44
計	14	23	20	17	24	17	22	18	19	18	38	434

令和元年度民生委員児童委員の活動状況 (単位:件)

内容別 相談・ 支援 件数	分野別相談・支援件数		その他の活動件数	
	在宅福祉	759	高齢者に関すること	3,562
	介護保険	258	障害者に関すること	309
	健康・保健医療	184	子どもに関すること	1,522
	子育て・母子保健	255	その他	772
	子どもの地域生活	312	計	6,165
	子どもの教育・学校生活	642	調査・実態把握	13,726
	生活費	242	行事・事業・会議への参加・協力	13,034
	年金・保険	34	地域福祉活動・自主活動	16,495
	仕事	61	民児協運営・研修	12,797
	家族関係	256	証明事務	2,626
	住居	95	要保護児童の発見の通告・仲介	75
	生活環境	329	回数訪問	訪問・連絡活動
日常的な支援	1,380	回数訪問	その他	30,555
その他	1,358	調整連絡	委員相互	15,358
計	6,165	調整連絡	その他の関係機関	11,394
			活動日数	55,299

4 赤十字関係団体

1 赤十字奉仕団

博愛、人類愛の赤十字精神のもと、赤十字の人道的な活動を実践する人々の組織として、赤十字奉仕団がある。本市では、約440人程度の女性で組織されている。

赤十字奉仕団の各種奉仕活動として、毎年5月を赤十字運動月間として、会員募集に関する事務奉仕を行っている。また、日本赤十字の講習会として救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法、減災セミナー、赤十字BLS入門講座を各地で実施しており、その他大規模地震に備えての、救護の講習、訓練等を行っている。

2 日本赤十字社有功会

有功会は、社資功勞により有功章を受賞した方々により結成された組織であり、日本赤十字社の支援団体として、赤十字思想の普及を行っている。

3 青少年赤十字（JRC）

青少年赤十字（Junior Red Cross）は、青少年の思いやりの心を育てるために、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の3つを実践目標とし、学校教育に密着した活動を展開している。青少年が赤十字の精神を理解し、人道的活動に取り組めるように日本赤十字社が育成や援助を行っている。市内でJRC活動を行っている学校は次のとおりである。

	学 校 名
高 等 学 校	県立吉原高校、富士見高校、県立富士高校、富士市立高等学校
中 学 校	吉原第二中学校、大淵中学校
小 学 校	吉永第二小学校、須津小学校、田子浦小学校

5 その他の団体

1 保護司会

保護司は、社会奉仕の精神をもって犯罪者が健全な市民として社会復帰をできるよう、又、犯罪を再び行わないよう、保護観察所の命令により保護観察を行うことが主な業務である。このほか毎年7月に行われている「社会を明るくする運動」の中心となって、青少年の非行防止キャンペーンなど啓発活動も行っている。

令和元年7月1日より富士市フィランセ内に更生保護サポートセンターを開所し、保護司及び更生保護活動を支えている。

保護司は、富士市の行政区画を単位に富士地区保護司会を構成している。富士地区保護司会の定数は108名で、任期は2年となっている。

2 更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や、子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体。

3 協力雇用主会

過去に犯罪や非行を犯した人を雇用し、立ち直りを支援する事業主の団体。

4 BBS会 (Big Brothers and Sisters Movementの略)

さまざまな問題を抱える少年・少女に、兄弟・姉妹のような身近な立場で接することで、少年・少女の成長を助ける青年ボランティア団体。

令和元年度新規受理件数 (富士地区) (単位：件)

区 分	新規受理件数	備 考
1号 観 察	17	家庭裁判所で保護観察に付された少年
2号 観 察	2	少年院からの仮退院を許された者
3号 観 察	24	刑務所からの仮釈放を許された者
4号 観 察	20	裁判所で刑の執行を猶予され、保護観察に付された者
小 計	63	
生活環境調整 刑務所 少年院	37 4	施設収容者の帰住先の環境調整
小 計	41	
合 計	104	

5 人権擁護委員協議会

人権擁護委員は、市民の基本的な人権を擁護し、自由人権思想の高揚を図るため、人権侵害に関するあらゆる相談と人権意識を高めるための啓発活動を行っている。

富士市選出の委員18名が、第2・4木曜日を無料特設人権相談の日として市役所市民相談室にて、交代で相談を受けている。

富士人権擁護委員協議会は、静岡地方法務局富士支局に事務局を置き、富士市、富士宮市の人権擁護委員で構成している。委員総数は31名で、任期は3年となっている。

令和元年度無料人権相談取扱件数 (単位：件)

相 談 形 態		相談件数	備 考
特 設	市民相談室	12	市庁舎3階市民相談室
	そ の 他	1	市内まちづくりセンターほか (特設相談所)
法務局内での電話・面談相談		124	静岡地方法務局富士支局